

2面	沖縄県知事選 玉城デニー氏圧勝
3面	関生弾圧コンプラ裁判 求刑8年
4面	全国で国葬反対のうねり
5面	大阪で3つの集会、2つのデモ
6面	強制不妊手術裁判 不当判決
7面	連載③ 21年7月21日プーチン論文
8面	前進社に「安倍国葬やめる」のパナー

未来

THE FUTURE

反帝国主義・反スターリン主義 万国の労働者と被抑圧民族は団結せよ!

●発行所 前進社関西支社
〒532-0002
大阪市淀川区東三国6-23-16
(振替 00970-9-151298)

●発行人 佐藤一

●第1・3木曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

革命的共産主義者同盟再建協議会 <http://miraikakukyodo.jp/>

国葬失敗、支持率急落 安倍岸田打倒へ追撃を

沖縄知事選挙での玉城デニー知事の勝利と安倍「国葬」の大破産によって、岸田政権は風前の灯になっていく。にもかかわらず、軍備増強や新増設を含む原案の全面的推進を打ちだした。それだけではない。生活物資の値上げで塗炭の苦しみにあえぐ労働者人民に対して、その声をきくどころか、投機者と利権まみれの企業だけを優遇する金融の大幅緩和を続行する凶悪路線をひた走っている。岸田は変質したのか、それとも元からその路線なのか。それを解く力には「安倍岸田打倒」としか言えない体制を岸田が継承していることにある。

安倍岸田打倒と は何か?

立する。思想的・路線的には、夫婦別姓、同性婚に反対するイデオロギイ・資金)を安倍首相個人が割り振る、逆に、閣僚などの人事では、文科・法務・警察などの権力機構とイデオロギイ支配の要を統一教会支援者・同調者で固めてきた。朝日新聞のアンケート調査によれば、3千人の回答があったうち、統一教会と接点があったのは、検の結果でも、衆参両



安倍の国葬反対で国会前をうめつくす1万5000人 9月27日 詳報次号

国会議員150人、都道府県議290人、知事7人である。

安倍晋三と統一教会の直接関係が公的に確認できるのは、2005年10月に官房長官に就任する直前に天宙平和連合(U.P.F.)の創設記念広島大会に出席したことであり、祝電を送ったことである。このころ、UPF作成の小冊子に、ジェンダー平等という言葉を使わせないために、内閣府政務官(後の法務大臣)山谷えり子に働きかけるという記述がある。自民党自己点と接点があったのは、検の結果でも、衆参両



国葬当日、御堂筋を北上するデモ隊(9月27日、大阪市内)

を含めて2万人程度から広がっていない。逆に「サタンの国」と位置づける日本では政治・官僚・権力機構に食い込み、靈感商法や献金などで膨大な資金を集めている。資金集めは韓国・米国ではほとんどできていない。

統一教会の教義では、「日本はサタンの国」「日本はサタンの国」と規定し、「サタンの国に落ちた結果、植民地支配という非道を犯した日本はその罪を償うために、韓国(当然DPRKを含む)に責がなされる。その現れとして、統一教会の「4大名節」といふ記念日には、久保木会長(当時)が天皇役を演じて、文鮮明教祖にひざまずく儀式がおこなわれていたという(有田、前掲書)。

これによれば統一教会は「反日」右翼にほかならない。

勝共連合は統一教会(2面へ続く)

「反日」?

統一教会の教祖・文鮮明は、1991年朝鮮民主主義人民共和国(DPRK)を訪問し、金日成と意気投合し、義兄弟の契りをかわしたという。これを根拠にDPRKで事業をおこなう、他の韓国企業が撤収させられたにもかかわらず、唯一にもかかわらず、唯一も現存している。日本が集めた資金から5千億円を投入しているという(白井聡「戦後日本の支柱だった旧統一教会」)

ウクライナ東南部併合弾劾 ロシア人民の戦争動員許すな

9月21日、ロシアのプーチン大統領は予備役などの「部分的な動員令」を発動し、同時に、ウクライナ東部の南部の親ロシア派が「ロシアへの編入」を求めて実施する住民投票を支持すると表明し

9月27日、親ロシア勢力はロシア軍占領地で「ロシアへの編入」を問う「住民投票」を終えた。

ウクライナ東部のルハンスク州、ドネツク州と南部のヘルソン州、ザポリージャ州の4州内ロシア軍占領地で20日に発表、23日に実施。最初の4日間、賛成92%とする。暫定結果を発表した。各戸を係員が回って票を集めるか、街頭に投票箱を置く、27日ロシアのマトヴィエンコ上院議長は4州併合する法案の上院審議に「10月4日にも

強制的なものだ。一部地域で「投票率90%と、賛成92%とする」と発表された。人権団体「OVDインフォ」によると、モスクワや地方都市で1400人近くが当局に拘束。25日にはダゲスタン共和国で女性たちが動員に反対する集会・100人以上が高速道路を封鎖。警察が発砲・拘束。シベリアのヤクーツクで女性たちが「ジェノサイドにノー」と唱えて抗議し、警察に拘束。25日までに放火は全国で16件。徴兵事務所などの建物に火災瓶。動員拒否は国外出国も。ウクライナ東南部併合弾劾動員令許すな。

関生弾圧 9月13日 大津地裁コンプラ活動裁判 求刑8年に怒り

9月13日13時15分

しかし、検察側は論告に3時間以上かかる裁判所に要求し、1時間ごとに休憩を入れ活動に対する関生の組合員6人に対して論告求刑がおこなわれた。このため報告集を中止せざるを得なかったが、16時からの論告求刑は通常、結論だけを述べて、どんなに長くても1時間もかからずに終わるものだ。そのため、私たちは14時から報告集会、16時からデモを予定していた。

デモが出発する16時になっても論告はまだ延々と続いていた。若い検察官が聞き取れない小さな声でぼそぼそとしゃべっていたとのことである。検察側の主張は概略「関生支部のコンプライアンス(法令順守要求)活動によって会社の信用は失墜した。法令順守を要求する被告人らの活動は『悪質』であり、矯正施設(つまり、刑務所)で矯正すべき」というものである。被告らと合流した。集まった人たちは永嶋靖久弁護士から湯川裕司委員長に8年、他の執行委員5人に4



大津地裁に公正な審理を求める(9月13日)

合としてなら間違ったことはしていない。コンプライアンス活動は当然必要なこと。阪神淡路大震災以来、われわれはこれを地道に取り組んできた。ヨーロッパでは当たり前前の活動が日本では犯罪とされる。こんなゆがんだ状況を変えていかなくてはならない。求刑は8年だったが、なんら動揺していることはいりません。ひとつの試験としてこれからも運動をしてみたいです」と力強いあいさつ。

最終弁論に結集を 関生弾圧は団結権を否定・破壊することに本意がある。団結権は生存権に由来する。貧困が拡大し、生きることにすら否定される今の日本社会において、人らを生かすために声をあげるには団結権が不可欠である。

求刑8年に怒り デモは14時からおこなわれ、裁判所をぐるぐる包囲するからたちで進み、17時頃、JR大津駅前到着。そのころ、ようやく検察の論告求刑が終了し、法廷からの人たちと合流した。集まった人たちは永嶋靖久弁護士から湯川裕司委員長に8年、他の執行委員5人に4

武副委員長が核心をつく指摘

武副委員長が核心をつく指摘

最終弁論

とき: 10月24日(月) 午前10時~午後5時
ところ: 大津地方裁判所 (JR大津駅北3分)

関電の原発マネー不正還流 大阪地検に「起訴」要請行動

9月6日

関電の旧経営陣が福 昨年11月9日に大阪地井原高浜町元助役や、検がおこなった不起訴の金品を受領していた当「不起訴不当」と月6日、大阪地検を訪問し、「強制捜査や関係者からの再度の事情聴取や独自のデジタル・フォレンジックの実施を尽くし、真相を究明して、被疑者を起訴するよう」要請した。

2件の追加告発も 不起訴決定後の今年4月20日に関電が設置したコンプライアンス委員会は、新たにデジタル・フォレンジック調査をおこなない、①土砂処分、②土地賃借、③倉庫賃借の3件で、元助役関連会社の吉田開発などに便宜をはかるためにコンプライアンス違反があったと認定した。

記者会見&報告集会 その後、近くの別会場に移動し、記者会見&報告集会がおこなわれ、80人が参加した。

「黒い雨」被爆者・高東征二さんが意見陳述

伊方原発広島裁判

9月14日、広島地裁 録撮影をおこない、午後2時30分からの法廷において第29回口頭弁論に臨み、法廷に「黒い雨」被爆者、NHK広島放送局のカメラも入り、開廷前の様子も撮影された。伊方原発運転差止広島の原告団、応援団、支援者らは、午後1時40分に地裁前で記者会見・報告会をおこなった。

「黒い雨」被爆者高東征二さんは「四国電力の伊方原発3号機は今でも運転を続けています。環境に放射能を放出するよう事故が起きたらどうなるでしょうか。その放射能は、さえぎるものがない瀬戸内海を



とめる山口裁判の会

とめる山口裁判の会

また、ZOOM参加した「青森県を高レベル放射線廃棄物の最終処分場としない条例」制定を求める県民の会共同代表で核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団代表・弁護団長でもある浅石紘爾さんが、(28)(29)の補足説明①が、パワーポイントのスライドを映写しながらおこなわれた。

伊方原発をとめる山口裁判の会」による報告会では原告側弁護団による準備書面の解説、質疑応答の後、中絶をさせない祝島島の会妨害予防請求の調停が申し立てられたとの報告があり、参加者から怒りの声があがりました。(松田 忍)

全国で国葬反対のうねり

安倍国葬反対の行動は、東京の武道館・国会周辺はじめ、全国各地で大きなうねりとなった。

大阪 国葬当日に4000人のデモ



中之島公園水上ステージに集まりポテッカードをかかげる参加者(9月27日)

9月27日大阪では「やめる! 安倍国葬実行委員会」の呼びかけで、中之島公園水上ステージに4000人が集まり、御堂筋を北上し梅田までのデモ行進をおこなった。集会は実行委の主催者あいさつと大橋ゆうこ社民党副党首などの発言を受け、デモに出発。途中アメリカ領事館あたりから雨に見まわれ

前夜

総がかりが1000人の集会

たがものともせず、梅田OS劇場前まで抗議の声を上げた。集会・デモには小さな市民グループが3人・5人と集まり、それぞれ旗とプラカードを持って寄った。平日昼間ながら多数の結集に意気上がる行動となった。国葬前夜の26日、大阪中之島公園ではおおさか総がかり行動実行委員会主催で、関西で最大規模の集会・パレードがおこなわれた。集会は主催者あいさつと大橋ゆうこ社民党副党首から国葬反対のスピーチを受けた。同センターが西梅田公園までデモ行進した。この日『未来』編集委員会は、『未来』の旗をたて国葬反対特別に退職教員がそのいの号を500部配布し、デモ行進にも参加した。



「未来」の旗も(9月26日、大阪)

東京

9・19 代々木公園 1万3000人が結集



9月19日は例年この時期に取り組まれるさようなら原発集会だが、この日代々木公園野外音楽堂には、国葬反対で最大規模の13000人が集まった。集会名称は「安倍元首相国葬反対! 改憲発議と大軍拡やめろ! さようなら戦争 さようなら原発「戦争法」強行から7年 福島ス(渋谷コ



9月23日、都下府中市で、安倍の国葬に反対して「9・23府中市民怒りのパレード」が1200人の参加で開催された。都内23区だけでなく三多摩地方でも国葬に反対の声は充満している。主催は「選挙で変えよう! ふちゅう市民連合」で、国葬後の闘いを継続し岸田政権を追い詰めていくことを誓った。(写真上)

府中市でパレード

9月23日

神戸 第2波デモ

9月17日



9・17兵庫デモは、8月27日の第1波につづく国葬反対行動。この間兵庫各地で集会やスタンディングがおこなわれ、市民デモH YOGOのマルイ前でシール投票は毎回1000人を超える投票

がおこなわれ、関心の高さや日に日に反対意見が増える中での2回目の闘争となった。集会は市役所南の東遊園地に400人が参加。デモ終了後、元町駅ゲストスピーカーの内田樹神戸女学院名誉教授は「国葬反対の世論が過半数を超えても、岸田首相は、安倍元総理が国葬に値する立派な業績を残したとも立派な人物だとも国民に強く訴えないのは、彼自身から思っていないからでしょう」と語り

尼崎でスタンディング

9月22日尼崎では、9月2日に続き2度目のスタンディング。地区の呼びかけのもと、関西合同労組や市民団体、立憲民主党の元県議、新社会党の尼崎市議など30人が参加し、阪神尼崎駅前で国葬反対の訴えをおこなった(写真)。尼崎で武庫川の自然を守る市民運動を長くしてきた仲間からは、国道43号線公害問題も含め、尼崎市民の怒りが土壇場で爆発すると訴え、国葬反対ののぼり旗を持って駅前広場を駆け回った。尼崎共同行動は



19日に集会・デモを企画していたが台風の接近で中止。かわりに23日にJR尼崎駅前ですタンディングが。各地の行動でほぼ最後、他の集会と重なったが100人以上が参加した。ここでも赤字白又キの「安倍国葬やめろ!」の横断幕(関西、全国に多数出回っている)と、「国葬反対」ののぼり旗が道行く人を引き付けた(写真左)。



お詫びとおこたわり
全国各地から国葬反対の報告が寄せられていますが、紙面の都合で限定選択となりました。次号にも掲載予定ですが掲載しきれない可能性もあります。
また反原発や優生保護法や、ミャンマー情勢、ウクライナ反戦をめくつての意見なども寄せられています。次号以降にすることを断りしませう。本紙編集委員会



27日も行動
国葬当日の9月27日13時から三宮マルイ前で国葬に抗議するアピール行動。14時過ぎから土砂降りの雨になったが、参加者は80人に。自由なスピーチ、ギター・ジャンベ演奏、コールを織り交ぜ国葬に抗議した。(写真左)

市民の決起、野党の奮闘で岸田倒せ

大阪で3つの集会 2つのデモ

白井聡・紀藤正樹さんが訴え

統一教会と一体の安倍政治

9月23日



「異議あり国葬! 倍銃撃死と統一教会間を、パネルディスカッション、討論、アピール」集会が大坂市内でひらかれ、アピールがあった。280人が参加(写真)。倍銃撃死と2012年政治学者の白井聡さんが基調講演、弁護士の紀藤正樹さんが特別報告(リモート)などの問題は明らかに

なっていない。付度の中心が消えたが、まさしく紙一重。日本の国はそこまで来ている。国葬を決めたのは岸田の大失態。統一教会を片づけられない自民党として、国際関係の裏面史を暴いた。いま戦後が立ち行かなくなってきた事実を見たくない。この体制を無理やり持たせようとするのが2012年体制だ。国葬で岸田は体制を正当化しようとしたが無理。反対の声の大きさを

に日本の未来がかかっている。今が勝負の時だ。▼リモート講演で紀藤弁護士は「統一教会と政治の癒着」として、32年間この問題を追及してきた経過を報告した。80年代に問題になったが、警察の捜査が終結して、一見終息。メディアも報道しなくなった。だが勝共連合と関係が深かった金丸が文鮮明を日本に呼び、米国で有罪となり入国できない文鮮明を捜査しなければオウム事件は起きなかった。オウムは統一教会のミニチュア。まねた方は解散や教祖逮捕で破綻。統一教会は捕らえられなかった。1996年まであった優生保護法を知っていますか。日本が基本的人権を認めた2年後にできたんです。優生保護法は私たちのことをいらない者として子孫をつくらないといけない。科学的知見を無視するのはコロナのPCR検査抑制と一緒。次の政権の時も海自艦艇派遣でこんな奴を国葬にしないといけないのか。ともいいます。

9・9 18人がアピール

緊急集会



やめろ! 安倍前から大阪駅前反対行動をやってる。沖繩アピール集会が大坂市内でひらかれ、250人が参加した(写真)。主催者代表・古橋雅夫さんのあいさつ後に17人が発言。一部を紹介する。

▼「辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動」西川雄二さんは、「大阪行動は18年以上事止まるが、16年参院選でオール沖繩が勝利した翌日に、高江へリパッド工事を始めた。この時、大阪の機動隊が差別暴言を吐いた。高江のあと、18年12月、護岸工事土砂投入を始めた。軟弱地盤がわかってはもうやめないと避妊手術をした。科学的知見を無視するのはコロナのPCR検査抑制と一緒。次の政権の時も海自艦艇派遣でこんな奴を国葬にしないといけないのか。ともいいます。」



高作正博さんが講演 PLPP会館あふれる300人 9月19日

9月19日、大坂市内で「安倍元首相の国葬反対! 大阪集会」が、あきこ衆院議員、木村真豊中市議らの発言が。アピールとして(やめろ!)安倍国葬実行委員会(古橋雅夫さん、学生、来年の統一教会が)の古橋雅夫さん、来年の統一教会が発言があった。最後に「9・27国葬粉砕は入口。自民党は統治能力がなくなると日本会議系や統一教会が支えている。秋の臨時国会から、衆院解散に追い込んでいく」とまとめた。

高作正博さんが講演 PLPP会館あふれる300人 9月19日

「安倍元首相が死んで改憲が遠のいたともいわれるが、決して楽観視できない。改憲をすすめる維新、参政党、NHK党などが揃っている。」

『未来』購読のお願い 住所、名前を書いて題字横の所に申込みを 月2回 8頁1部 200円

強制不妊手術裁判第三次訴訟

「またも「除斥期間」で棄却

大阪地裁
9月22日

9月22日、おおさか判長は、旧優生保護法を違憲としたもの、国の賠償責任は認めず、原告の請求を棄却した。今年2月の大阪高裁、3月の東京高裁判決に逆らうのかと怒りを覚えた(写真)。



旧優生保護法について、立法目的は非人道的で差別的であり、違憲であるといひながら「除斥期間」によって時間の経過で賠償を求めない。

全日本ろうあ連盟・集会決議では、絶対大竹浩司さんが、2月に許せない不当判決大阪高裁、3月東京高裁の判決の後、5月に優生保護法問題の全面解決をめざす連絡会が結成された。10月25日に東京日比谷公園大音楽堂で全国集会を開く。是非参加し、決意を込めて訴えたいと強く訴えたい。

さるにZOOMで、仙台から佐藤由美さん(知的障害)、福岡から朝倉典子さん(聴覚障害者)が亡くなった夫の分まで頑張ると発言した。これまでに提訴した25人のうち5人が亡くなった。兵庫の小林さんのお連れ合いも6月に亡くなったばかりだ。もう時間の猶予がない。

優生保護法問題の全面解決をめざす

10・25全国集会

とき:10月25日(火) 午後12時半~15時
ところ:東京・日比谷野音
共同開催:優生手術被害者・家族の会
全国優生保護法被害弁護団
優生保護法問題の全面解決をめざす
全国連絡会(優生連)

フジ住宅ヘイトハラスメント裁判

最高裁で原告勝利が確定

9月8日

フジ住宅ヘイトハラスメント裁判で、最高裁第1小法廷(山口厚裁判長)は、9月8日付けで同社側の上告を退ける決定をした。

被告は東証一部上場企業(現プライム市場)フジ住宅株式会社と同社代表取締役会長・今井光郎である。

この裁判は、大阪府岸和田市に本社をもつフジ住宅が、従業員の在日コリアン3世の女性にたいして会社ぐるみでおこなっているヘイトハラスメントに対して被害女性が訴えて

裁判で判決を受けたフジ住宅と会長が、この結果を真摯に受け止めることは勿論、判決の結果だけでなく、判決の中で示された問題点を理解し実行につなげることも、誠意を持って取り組むべきである。裁判は最終的に退職勧奨をうけた私を、そして裁判制度の希望であった。だから、厳しい状況に耐え続けた貴重な7年を、そして裁判制度の希望であった。だから、厳しい状況に耐え続けた貴重な7年を、そして裁判制度の希望であった。だから、厳しい状況に耐え続けた貴重な7年を、そして裁判制度の希望であった。

レイハラ解雇と闘う人々からあいさつ
集会には、東京から「モルガン・スタンレー」レイハラ解雇とたたかう原告Aさん(韓国籍)が参加し、典型的なレイシャルハラスメント解雇にたいして裁判で闘っている。報告・支援を訴えた。

(7面からの続き) からはすれば、ナチス規定をするしかなかったのである。プーチンは、一時期、ゼレンスキー大統領も、ネオナチ規定したり、2014年の革命を「ナチ支持者のクーデター」と呼んだりしているが、最近ではロシア内部でもそのようなレッテルが通用しなくなり、「ナショナリスト」という批判に変えている。ところでプーチンがクリミヤの併合やドンバスの内戦に使っている傭兵は「ワグネル社」という傭兵会社が提供しているが、この中心的実体は、「ロシア帝国運動」という極右団体がプーチン側近のオリガルヒと組んで設立したものであり、この連中はドイツのAfD(ドイツのための選択)と直接連携しており(だから名称までドイツ語である)、AfDは隠すところなしのネオナチ政党であるが、議院に議席を持つためにナチスとの関係を隠している。

セックスワーク論批判 ⑥-下

人間の解放かかける マルクス主義は買春と非和解

石川 由子

(承前) 性産業で働く論争され、それぞれの人々は、資本主義社会の矛盾を一身に担わされている底辺の労働者、シングルマザー、在日・滞日、部落民、障害者らだ。当事者にとことん寄り添うという意味で、私たちは断固としたセックスワーク派でなければならぬ。

その後、20年が経過し、軍配は廃止主義に上ったというべきだろう。ドイツにおいて、性買春の需要が拡大し、際限のない性搾取の地獄絵図となつてい

筆者は性買春当事者の支援者として韓国で長年活動してきた人。かつてはゴリゴリのセックスワーク論者であったらしいが、ドイツなど合法化国の当事者や支援者との交流の中から廃止主義に意見を替え、今回初めて満を持して著書を発表した。日帝支配の爪痕が色濃く残る韓国の性買春の実態もよくわかって心が痛む。

(つづく)

連載

侵略と併合を合理化 21年7月12日付プーチン論文 「ロシア人とウクライナ人の歴史的一体性について」③

ポリシェビキの犯罪

という次第で、現代ウクライナは、完全に、ソビエト時代の産物である。ウクライナは、その重要な点で、歴史的なロシアの大地の上に形づくられたことを、われわれはよく知っているし、よく覚えている。このことをはっきりさせるためには、17世紀にロシア国に再統合された国土の境界と、ソビエト連邦を去った時のウクライナ・ソビエト社会主義共和国の領土を見れば明らかである。

ポリシェビキはロシアの人々を、社会的実験のための無尽蔵な資源のように扱った。彼らは、国民国家を消滅させる世界革命を夢想した。彼らが国境を線引きし、領土という贈り物を与えるのに寛大なのは、そのためだった。ポリシェビキの指導者たちが、国家を細切れにしていった時の思想はもはや重要ではない。ある決定の背後にあるあれこれの詳細、背景、論理に関して、意見を闘わせることはできる。ひとつははっきりしていることは、ロシアがまさに強奪されたということである。

この論稿を書くにあたって、何らかの秘密の記録よりも、よく知られた事実を含む公開の資料に依拠していることをことわっておきたい。現代ウクライナの指導者たち、その外国の庇護者たちは、この事実を無視したがる。

しかしこうした人々は、国の内部であれ外部であれ、「ソビエト体制の犯罪」を追及するチャンスを見逃さない。そのためには、ソビエト連邦共産党であれ、ソ連邦であれ、何ら関係のない現代の事件であろうが、おかまいなしのようである。

それと同時に、ロシアからその歴史的領土を分割するポリシェビキの努力については犯罪と考えない。その理由は、ロシアの弱体化につながりさえすれば、われわれに対して悪意あるものたちにとって好都合だからである。

もちろん、ソ連邦の内部では、共和国間の境界は、国家間の国境ではないとされた。ちいさな1国内であれば、国境は、名ばかりのもの、連邦としてすべての力を結集する時が来れば、高度な中央集権化が起こる、こうして再び、ソビエト連邦共産党の指導的役割が求められる。ところが、1991年、すべての領土内で、そして、より重要な場所で、民衆が、一夜のうちに、自分自身の居場所を失い、今度ばかりは本当に、歴史的な祖国から、引き離されてしまったのである。

これを何といったものだろうか？すべては変化する。諸国家、諸社会も例外はない。もちろん、発展過程の1コマの中で、一部の地域のある人々が、多くの理由から、歴史的状況から、一夜にして、別の民族に属すると自覚することがありうる。われわれはそれとどう取り組めばいいのだろうか？答えはただひとつだけ、「敬意をもって」、である。

現ウクライナ指導部の誤り

あなたは、思い通りに、国を創りたいと思う。結構だ！しかし、その条件とはなにか？新しいロシアの典型的な政治家、サンクト・ペテルブルクのアナトーリ・ソプチャーク初代市長を私は思い出す。法律の専門家として、すべての決定は、合法的でなければならないと信じる彼は、1992年、次のような意見を共有していた。連邦を創設した諸共和国は、1922年の連邦条約を廃棄した後は、国境は、ソビエト共和国連邦に加盟した以前の状態に戻らなければならない。他の獲得した領土は、根拠が無効になっているので、交渉に託される。

言いかえれば、あなたが立ち去るとき、持ってきたものを持っていきなさい。この論理は、論駁不能である。ポリシェビキが、ソビエト連邦成立以前に、

人民の意見を聴かず、恣意的に、人民の領有する土地に手を入れ、境界線を書き換えていたと、私は言いたいだけだ。

ロシア連邦は、新しい地政学的リアリティに気がついていて、気づいていたばかりではなく、実際にウクライナが国家として成り立つよう多くのことを成し遂げた。困難な1990年代を通して、新たな世紀においても、ウクライナには、考えられる限りの支援をした。キエフは独自の「政治的算術」を使うが、それを使って、1991年から2013年の間に、USドルで820億以上の予算を節約できたのに、今日では、ヨーロッパへのガス輸送のための15億のロシアの支払いにしがみついている。われわれの国家の間の経済的きずなを維持していれば、ウクライナはすでに100億ドルの恩恵を受けたはずである。

ウクライナとロシアは単一の経済システムの下で、何十、何百年と過ごしてきた。30年間の手厚い協力は、今日即ちから睨目されるほどである。われわれは、よく言えば、真に自然の補完的経済的なパートナーだ。こうした密接な関係は、競争しつつ相互に利益を上げ、両国の潜在的な力をひきあげることができる。ウクライナは、つねに、大きな潜在能力を保ち、強力なインフラ事業を伸ばしつつ、ガスの輸送技術、進歩した船の建造、航空機、ロケット、工業製品のエンジニア産業など、世界に肩を並べる科学、設計、工学などを持っている。こうした遺産を譲り受け、独立を宣言したときに、ウクライナの指導者たちは、約束した。ウクライナ経済は、指導力を持つ先進国となり、生活水準は、ヨーロッパの最良のものひとつとなつて、と。ウクライナとソ連邦全体の誇りとひとたび言われていたハイテク産業の大企業群は、今日、衰退している。機械産業の製造では、ここ10年で42%下落、ウクライナの電力生産量はここ30年で、半減していることから、産業面の伸び悩み、経済全体の低落が見られる。結局、2019年のIMF報告によれば、コロナ・パンデミック発生以前の2019年で、ウクライナの1人当たりのGDPは4000USドル以下。これは、アルバニア共和国、モルドバ共和国、または未承認のコソヴォを下回っている。今では、ウクライナは、ヨーロッパで、もっとも貧しい国である。

ウクライナ貧困化の原因は誰に責めがあるのだろうか？これは、ウクライナ人民の失策なのか？もちろん違う。ウクライナが幾世代もかけて達成したものを、ウクライナの政府当局者たちは、蕩尽し浪費したのだ。ウクライナの人民は、つらい仕事にも堪え、高度な才能も備わっていることをわれわれは知っている。ウクライナ人民は、辛抱と決断によって、成功を勝ち取り、傑出した結果を残してきた。かれらの開明さ、生得の楽観主義、そして、親切なもてなしの精神は、消え去ってはいない。何百万もの人々のロシアとの交際に流れる心情は、単に良いものという程度ではなく、親愛の情に満ちている。それは、ウクライナに感じるロシア人のものと同じであり続けている。

2014年までに何百もの契約履行を果たし、ジョイント・プロジェクトを企図し、経済、ビジネス、文化的きずなを発展させ、安全保障を強化し、共通の社会的あるいは環境の諸問題を解いてきた。ロシアとウクライナ双方に、的確な恩恵をもたらしてきた。これこそが、もっとも重要なことだと、われわれは信ずる。それ故に、すべてにわたり、ことのほか強調したいのは、ウクライナの指導者たちとともに、実り多い相互交流ができたということだ。

2014年のキエフの出来事の後でさえ、私は、適切な省庁、機関とわれらの経済的きずなを続け、保持してゆくための選択肢を練り上げるべく、ロシア政府に要請してきた。しかしながら、ともに事をなそ



うとする意志は見られず、いまだにない。それでもなお、ウクライナはロシアの通商上のトップ・スリーのパートナーの位置を保ち、何十万ものウクライナの人びとが、働きに来ており、歓待と支援を受けている。なにが「侵略国」なのだろうか。

ソ連邦が解体した時、多くのロシアとウクライナの人々が真剣に、親密な文化的・精神的・経済的きずなはきっと続くだろうと信じ、維持してきた。それは、心の底から一体感をつねに感じてきたわれわれ双方の人民の共通性についても同様である。しかしながら、初めは徐々に、そしてのちに、さらに急速に、事態は違った方向へ動き始めた。

本質的に、ウクライナ支配層は過去の否定を通して、彼らの国家的独立性を正当化する決断をした。しかしそれは、国境問題を除外していた。かれらは、神話化と歴史の書き換えをはじめ、すべてをロシアと結び付ける歴史の編纂をはじめ、ウクライナが、ロシア帝国とソビエト連邦の部分であったころの時代を占領時代として規定する。1930年代の集産主義化、集団農場化と飢饉の共通の悲劇の時代は、ウクライナ人民へのジェノサイドとして描かれた(注8)。

過激派とネオナチ(注9)は公然と、そしてますます、その野心を、傍若無人なものにしていった。彼らを甘やかす公権力と地方のオリガルヒーの双方は、ウクライナの人民を略取し、西欧の銀行へ隠し金を積み込んだ。彼らは、資本蓄積のためには、彼らの母国を進んで売った。このことに、国家機関のぬぐいがたい弱点が加わって、誰か他人の地政学的企図へののおのずから人質となる立場ともなる。

(注8)大飢饉：1932年～33年の大飢饉。スターリン治下で農村を強制集団化して飢饉輸出によって工業化のための蓄積元本を確保することが目的で、農村に最大の餓死者が出た。ウクライナではこの飢饉の時に200万人から800万人近くの餓死者が出たとされ、とくにスターリンによる「ジェノサイド」として「ホロドモール」と言われる。プーチンはロシアでも死者が出たということを理由にこの飢饉を自然現象のように描いている。以上は、小山哲・藤原辰史著『中学生から知りたいウクライナのこと』によった。

(注9)ネオナチ：欧州では政敵をナチスと絡めてよく批判する。ロシアでは第2次大戦の独ソ戦の勝利が民族アイデンティティとなっているため、この傾向が強い。ほかに誇るべきものがないということがある。このことからプーチンは、2014年の「尊厳の革命」(後出)の主体や「アゾフ連隊」をネオナチとか親ナチスと批判することが多い。前者についてはマイダンで首都の広場を20万に及ぶ民衆が取りまいて、腐敗を極めるヤヌーコヴィッチ大統領を打倒した事態があり(ウクライナでは「尊厳の革命」と呼ばれる)、その中に数10人の親ナチを自称する右翼がいたことは確かであるが、その勢力は議会選挙では合わせても5%条項を満たせず、議席を失っている。アゾフ連隊はドネツク地方の内戦において、親ロシア勢力を自称するロシアの傭兵、特殊部隊、ヤクザなどの偽装部分と闘った郷土防衛隊的義勇部隊であり、中に右翼セクターなどの思想の持ち主がいたことは事実であるが、内務省管轄の正規部隊に編入され、そのような思想的右翼は排除されている。プーチンは、ドネツク2州への軍事介入の理由をロシア人の防衛のためというが、東部2州で民族的出自がロシア民族のものはせいぜい2割程度、ただウクライナ語が禁止されるか、不利な扱いを受けたため、ウクライナ語を喋れずロシア語を母語とする人はところによって半数を超えている。双方の集団とも、ウクライナからの分離やロシアへの編入を支持する者はほとんどいない。ちなみに前記アゾフ連隊に所属するものは全員がロシア語話者であり、プーチン

『ファシズムの教室』を通して考えたこと

差別・排外主義を許さない

9月18日、「差別・排外主義を許さない」と説明。練習をおこない集団の排外主義を許さない！ 田野さんへは『ファシズムの教室』が出版された直後にアプロウチを通過して考えたこと」が都内でひらかれ30人が参加した。講師は甲南大学教授・田野大輔さんで、主催は、差別・排外主義に反対する連絡会。

まず司会が、十数年活動を続けている当連絡会の活動の柱の一つとして学習会を続けてきたが、「連続講座」としては最終回とする」と紹介。昨年いただいた多田瑤子反権力人権賞の賞金を運動へ還元すること(毎回のことで)が今回は特に赤字額が



講演は質疑を含めて、以下の様な話でした。30年間ナチス・ファシズムの研究をしてきたが、それは別個に教育者として社会学にも携わってきた。その二つを繋げたいという思いで始めたのが『ファシズムの教室』で紹介した授業。

講演と質疑

講演は質疑を含めて、以下の様な話でした。30年間ナチス・ファシズムの研究をしてきたが、それは別個に教育者として社会学にも携わってきた。その二つを繋げたいという思いで始めたのが『ファシズムの教室』で紹介した授業。

授業では2500人程の生徒に、教師の自分を指導者に見立て忠誠を誓わせることから始める。敬礼や行進の

な説明をおこない、レポート等による事後の自己検証も求め、授業以上の逸脱が生れないようにしている。にもかかわらず、右翼政治家の圧力に大学が屈してしまい、10年で終了となってしまった。

近年の研究では、強力な独裁者による上意下達によってファシズムが形成・維持されるという従来の通説は誤り、動員された民衆の付随・主体的行動がより大きな原動力となったことが分かってきた。集団の力・指導者へ従属することによる責任感の麻痺・等を通じ、これまでの自分の規範から外れた行為まで違和感なくおこなえるようになる。権威を背景により強く自分を肯定するために、行動は過激化する傾向が見られる。

これは、ポピュリズムやヘイトにも通じる問題。更には、宗教やイデオロギにもその要素が含まれている。権威への服従・異端の排除の二大要素で分類するのであれば、文化大革命・レッドパージ・連合赤軍も広義のファシズムと言える。

一般的な左翼的運動の中にもファシズムの要素を感じはするが、内省が強い傾向があった」と語りました。

国葬反対のバナー

9月中旬、前進社関西支社ビルに「安倍国葬やめろ」の6メートルのバナーがかかけられた。



山本義隆著

『リニア中央新幹線をめぐって』

著者の元全国共闘分かりやすく提起して

著者は元全国共闘分かりやすく提起して

著者は元全国共闘分かりやすく提起して

著者は元全国共闘分かりやすく提起して

著者は元全国共闘分かりやすく提起して

訃報

尼崎地区労前事務局長

小西純一郎さん 急逝

9月19日午前9時、している」と聞いていたが、こんなに早く亡くなったとは思いませんでした。痛恨の極みです。小西さんは1970年代後半に大学を卒業後、尼崎の労働運動の世界に飛び込み、尼崎総評事務局員として最末期の総評運動を担った。総評解散・連合発足の過程では、地区労働の継承と、地域合同労働組の草分けとして



反弾圧集会で発言(2019年3月)

反弾圧集会で発言(2019年3月)

闘争案内

三里塚全国総決起集会

とき:10月9日(日) 正午

とき:10月9日(日) 正午

とき:10月11日(火) 午後6時半

とき:10月16日(日) 午後2時

とき:11月6日(日) 午後1時

とき:11月6日(日) 午後1時

とき:11月6日(日) 午後1時